

outthink disruption

IBM レジリエンシー・サービス

今の社会は常時接続の時代です。モバイル、ソーシャル、コグニティブ、モノのインターネット (IoT) がビジネスを作り替え、人々の生産性、柔軟性、接続性、即応性を向上させています。

このコグニティブの時代に、データとシステムを 24 時間 365 日ずっと利用できるという信頼性は必要不可欠であり、万が一サービスの中断が発生すると、人々は過去を上回るリスクに直面します。

IT インフラストラクチャーは複雑さを増しています:

モノのインターネット (IoT) のインストール・ベースのエンドポイントは **2014 年の 97 億個** から **2020 年には 300 億個に拡大する見込みです。**¹

2018 年には、**2 人に 1 人の消費者** が、コグニティブ・コンピューティングを活用したサービスを日常的に利用するようになります。²



そのうえ、サービスの中断が発生する頻度が増えています:

Over 1,000 を超える大規模サービス中断 が、世界各地の企業に影響を与えました (2015 年)。³

70% in 10 の企業からの報告では、ハイブリッドで異機種混合の環境に対応したレジリエンシー戦略の必要性を訴えています。⁴

基幹業務アプリケーションが障害を起こした場合の 1 時間あたりの平均コストは **50 万米ドルから 100 万米ドル** です。⁵



データ侵害が自然災害に取って代わってビジネス・リスクの **第 1 位** を占めるようになりました。



レジリエンシー (ビジネス回復力) とは?

単なるテープ・バックアップではなく、事業継続計画や災害復旧をも超えるものです。レジリエンシーとは、サービス中断に迅速に対応し、リスクや機会に即応するための統合されたアプローチを企業が採用できることです。

サービスとしての災害復旧の市場は、2020 年までに 20 億米ドル市場から 120 億米ドル市場に拡大すると予測されています。これは **CAGR にして 52.9%** に相当します。⁶



データ侵害に対応する合計コストが **15%** 削減されます (事業継続管理を含む)。⁷



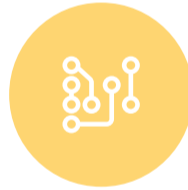
IBM のレジリエンシー・サービスが提供するもの:



従来型、ハイブリッド、クラウド・レジリエンシーに対するレジリエンシー・コンサルティング



サービスとしての災害復旧 (DRaaS)



IBM GDPS – 高可用性



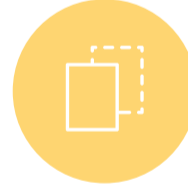
サイト、施設、データセンター・サービス



事業継続性と IT 復旧



サービスとしてのバックアップ (BaaS)



サービスとしてのレジリエンシー・コミュニケーション

IBM をお勧めする理由



IBM レジリエンシー・サービスは Gartner により DRaaS の **リーダー** に位置付けられています⁸



運用されている国は **75 カ国**



300 以上の 配信データ・センター (54 カ国)。



IBM は毎月 **500 万件のバックアップ** を適切に実行し、毎年 **2.5 エクサバイト** のデータをクラウドで保護しています。

コグニティブの時代にあって、企業にはレジリエンシーが必須です。さもなければ、ビジネスに大きなリスクをもたらします。

ibm.com/services/resiliency

¹ IDC「Worldwide Internet of Things Forecast Update」(2015-2019, Doc # US40983216, 2016 年 2 月)

² IDC FutureScape: Worldwide Big Data and Analytics 2015 Predictions」(IDC)

³ NatCat Services「Natural Losses Events Worldwide, 2015, Geographical overview」

⁴ IBM Center for Applied Insights「Growing up Hybrid: Accelerating digital transformation」(2016 年 2 月)

⁵ IDC「DevOps and the Cost of Downtime: Fortune 1000 Best Practice Metrics Quantified」(Stephen Elliot, 2014 年 12 月, IDC #253155)

⁶ 「Markets and Markets」(2015 年 6 月)

⁸ Gartner「Magic Quadrant for Disaster Recovery as a Service」(John P Morency, Christine Tenneson, Ron Blair, 2016 年 6 月 16 日)

